

第90回 火力専門委員会 構造分科会 議事録（案）

1. 日 時：2016年7月12日（火）13時30分～17時30分
2. 場 所：日本機械学会 第4,5会議室
3. 出席者：飯田（東電FP）、西野（配管技術研究協会）、西田（MHPS 長崎）、妹尾（関電）、
豊嶋（MHPS 呉）、大橋（IHI）、高野（中電）、田村（MHPS 日立）、
黒川（川崎重工）

代理者：なし

オブザーバー：太原（東芝）

欠席者：野呂（富士電機）

事務局：原

4. 配布資料

- 90-1 第89回構造分科会議事録（案）
- 90-2 構造分科会委員名簿
- 90-3 第76回火力専門委員会議事録（案）
- 90-4 第78回発電用設備規格委員会議事録（案）
- 90-5-1-1 レビュー票（MHPS 日立）
- 90-5-1-2 レビュー票（MHPS 日立）
- 90-5-2 レビュー票（川崎重工）
- 90-6-1 レビュー票（東電FP）
- 90-6-2 レビュー票（中部電力）
- 90-6-3 レビュー票（関西電力）
- 90-7 審議履歴表
- 90-8 B31.1 材料のグループ番号の記載について

5. 議題

- (1) 前回議事録確認 [資料 90-1]

前回議事録（案）について確認を行ない、議事録案は承認された。

- (2) 分科会委員・役員の承認 [資料 90-2]

新任候補として太原氏（東芝）の推薦が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

- (3) 報告事項

- 1) 火力専門委員会報告 [資料 90-3]

6月3日開催の第76回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。

○第89回構造分科会報告

- ・レビュー票審議状況等の報告
- ・他分科会に係る残件の確認

○審議結果報告

- ・火力設備配管減肉管理技術規格（S TB1-2009）の改訂案の規格委員会書面投票による修正案の審議・承認
- ・火力設備配管減肉管理技術規格（S TB1-2009）に係る質疑応答回答案の審議・承認。

2) 規格委員会報告

[資料 90-4]

6月8日開催の第78回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(6/3開催)についての報告。
- ・火力設備配管減肉管理技術規格（S TB1-2009）の改訂案の規格委員会書面投票による修正案の審議。一部再修正（年版を併記する理由を記載）し、再修正箇所をメール審議(火力専門委員会、規格委員会)することになった。メール審議可決後、公衆審査を開始する予定。

(4) 審議事項

ダブルチェックされたレビュー票は、担当者がその内容を確認した結果を反映させたものを分科会審議にかけることとした。

1) レビュー票審議 MHPS 日立

[資料 90-5-1-1,2]

田村委員が、レビュー票（コメント反映、新規分）を説明し、審議を行った。

Ⅳ章 UCS、UHX、Appendix 5、Appendix EE、Ⅴ章 127、Appendix IV

○UCS …… 新規材料の確認を行う。

○UHX-13.4(c)

- ・再度見直し案を作成する。’管板厚さhを仮定する’が前半部分に来るようにする。

○UHX-14.4(d)

- ・上記UHX-13.4(c)と同様に見直す。

○Appendix 5 5-3(f)

- ・ $0.5\sqrt{Rt}f$ の f は t の下付き文字に修正する。

- ・uncorroded …… 腐食されない → 腐食代を含めた などに見直す。

○Appendix 5 5-5(f)

- ・structural integrity …… 構造保全 → 構造の健全性
- ・検査には、leaks と structural integrity の両方がかかるよう見直す。

○Appendix LL、HH

- ・内容を確認して、取入れの要否を検討する。

○127.4.8(F)

- ・7.06MP … ASME の SI 単位の数値を採用する。

○図 127.4.8(E)

- ・cover weld：すみ肉溶接 … より適切な表現を調べる。
- ・「Crotch area」, 「Heel area」は「クロッチ部」、「ヒール部」としておき、より適切な表現が有るかを他の委員も含めてもう少し調べる。
- ・注記の「stress intensification factors」は、応力増大係数とする。(他の箇所も含めて統一する。)

○Appendix IV-1.1

- ・NACE の住所は記載しないこととする。

2) レビュー票審議 川崎重工

[資料 90-5-2]

黒川委員から、前回までのコメントを反映したレビュー票について説明があり、提案のとおりで良いことを確認した。 Ⅲ章 PG、Ⅳ章 Appendix 4

3) ダブルチェック結果の注記事項 西野委員

[資料 90-6-0]

西野委員から資料に基づき、統一しておきたい用語、文体など、ダブルチェック時の注記事項について説明があった。

- Chapter は節、101 などの paragraph は項とする。
- 用語は時期を見て、メンテナンス、オーソライズして統一すべき。

4) ダブルチェック結果反映の審議 東電 FP

[資料 90-6-1]

飯田委員から、ダブルチェック結果を反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。

Ⅲ章 PW、Ⅴ章 Appendix D

○PW-15.3

- ・ASME の最後の文（知らせ穴を開けたままとする規定）は、取り入れることとする。

○Appendix D

- ・「曲げ管」は「曲げ管」のままとする。
- ・「ティー」は「ティー」のままとする。
- ・「Pad」は「パッド」とする。
- ・「integrally reinforced」が「fitting」にかかることが分かるようにする。
- ・「run pipe」は「主管」で統一する。（他の箇所についても同様）

5) レビュー票審議 中部電力

[資料 90-6-2]

高野委員から、コメントを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。

Ⅲ章 PW、Ⅳ章 UW、Ⅴ章 100

○UW-51

・ ASME SectionⅧ Division2 7.5.5 は、直接取り込まずにこのまま引用とする。

○100.1.3(C)

・ 日本規格協会が発行している ASME の翻訳本を参考にするため、所有している委員は関係する部分の情報を提供することとした。

6) B31.1 材料のグループ番号の記載について

[資料 90-8]

飯田主査から、2015 年追補の JESC 審議時に今後の宿題としていた、標記グループ番号の記載について、対応案について説明があった。各委員が次回の分科会までに対応案について検討してくることとした。

6. 次回開催予定

日 時：2016 年 8 月 22 日（月）13 時 30 分～17 時 00 分

場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室

以 上